

日常の移動を考える町民意見交換会 結果概要

住民からの意見を取り入れた公共交通計画にするために、住民に対して地域の現状や計画策定の方向性について説明を行い、意見交換会を実施した。詳細な結果は次ページ以降に示す。

◆開催日程

本郷地域：11月28日（木） 14時～15時30分 （参加人数：5名）
 高田地域：11月29日（金） 10時～11時30分 （参加人数：7名）
 新鶴地域：11月29日（金） 14時～15時30分 （参加人数：10名）

◆結果概要

地域	代表的な意見まとめ
総 合	・ 美里あいあいタクシーは予約できないことがあったり、運転手によって手助けの内容が異なったりするなど、改善の余地がある ・ そもそも運行内容（時間、料金、使い方等）を知らない人も多いと思うので、しっかりとした周知（体験会や出前講座など）が必要 ・ イベント時の移動手段に活用してもらうなどの連携が必要 ・ 各地域限定の行政・施設等が運行する移動サービスやレンタサイクル・トゥクトゥクなどの二次交通について、広い範囲で利用できるような柔軟な対応が必要
本 郷 地 域	・ 美里あいあいタクシーについては昔の運行形態を求める声もあり、活用可能な車両の一部を実証的に昔の形に戻すことや曜日ごとに地域を分けることによる需要集約、負担軽減を行ってはどうか ・ 地域の学生の通学手段や高齢者の買物・通院手段を維持していくためにも路線バスや鉄道の維持は必要 ・ 本郷地域を通過する温泉や通院の送迎バスにも乗れるようにしてほしい
高 田 地 域	・ 「竹田総合病院」まで美里あいあいタクシーで直接行きたい ・ 美里あいあいタクシーは便利だが、バスがなくならないようにしたい ・ 地域の現状を踏まえた取組を行っていただきたいものの、地域としても他の意見交換の場に参加していく必要がある
新 鶴 地 域	・ 生活圏が高田・本郷方面ではなく、坂下方面に向いているため、美里あいあいタクシーの運行範囲ではニーズに対応できていないところがある ・ 坂下厚生総合病院便は通院することはできても、朝の予約に間に合わないため不便 ・ 観光客を取り込むためにも新鶴温泉などを経由する循環バスを運行してはどうか

●本郷地域からの意見要望

■美里あいあいタクシーについて

- ・ アンケートでは満足度が高いようだが「予約をしようとして断られた」や「乗り降りの手伝いを断られた」など周りからは利用時に困ることがあると聞いている
- ・ 美里あいあいタクシーの利便性がないと、バスが運行していない地域は困る
- ・ そのため「美里あいあいタクシーだけで足りているのかどうかの確認」や「昔の定時運行に戻してほしいという声への対応検討」も踏まえて「6台の車両を活用した実証的な改善策（一部時間帯の定時化や地域曜日運行など）の実施」についても検討してはどうか
- ・ 一般タクシーでも対応してもらえないことがあり、今後さらに人員不足が加速するのであれば、ますます自家用車を手放せないようになる
- ・ 「西病院」に通っている方から「一般タクシーも手配できない」「特に帰りの時間のバスと合わない」という話を聞いており、病院と協力して「帰宅のための定期便」があれば良いなと思った
- ・ サービス内容について「乗り降りの手伝いなど運転手ごとに異なる部分の統一」もそうだが、要項の中身を改めて確認すると知らないこともあると思うので「要項内容の再周知」も行ってはどうか
- ・ また、営業時間も短く「学生が利用できていない」などの実態もあるため「利用できていない人の意見の汲み取り」が必要ではないか

■バス・鉄道について

- ・ 西陵高校の生徒の通学手段を維持するためにもバスは必要かと思う
- ・ 高校生の通学手段は鉄道とのことで、保護者が本郷駅まで送っている実態もあるようだが、鉄道自体が運休することもあるようだ
- ・ 会津若松市方面の通院や買物にも利用されるようだが、利用者はどのようにバス停まで行っているのかと思うときがあり、バス停の近くに住んでいる人しか使えないのではないか
- ・ 本郷循環線は便によって工業団地を先回りする運行もあるので理解できていない住民もいると思う
- ・ 反対側のバス停で待っていたらバスが行ってしまったという話を聞いたことがある
- ・ 雨風を凌げるバス停が少ないため、なかなか待つことは難しいかと思う
- ・ また、仕方がないことではあるが「バスの運賃が高く何度も利用することは難しい」ことから、もう少し安くなると利便性が上がるかと思う

■利用促進・周知広報について

- ・ 公共交通の利用促進においては「移動手段と目的がセット」であることが重要である
- ・ そのため飲酒を伴うイベントに参加した際など「自家用車を運転できないタイミング」に合わせて公共交通の案内が出ていれば利用することができるかと思うので、イベントチラシ等に掲載するガイドラインを作成し、イベント主催者と連携してはどうか
- ・ 併せて、イベントが公共交通で参加することを想定した時間設定も踏まえる必要がある
- ・ 近年、多くのイベントが「じげんプラザ」で行われるようになり「会場まで行くのが面倒で行けなくなった」「本郷支所でやってほしい」という声もある
- ・ 移動手段がないと地域の集まりがなくなってしまう
- ・ これまで周知広報は行われているかと思うが、まだまだPRが必要かと思う
- ・ 自家用車を運転できなくなってから公共交通の使い方を学び始めるのではなく、元気なうちに乗り方を体験することが望ましい
- ・ その点では、介護予防のサロンの中で「公共交通を使って移動する取組」があり、初めて1人で利用することのハードルが高い中で、集まって利用することができたので良いと思った
- ・ それ以外にも小学校等と協力して乗り方教室を行うなどの取組も良いかと思う
- ・ いざ利用する際に、利用目的は「買物・通院」のように絞り込まれていると思うので、美里あいあいタクシー⇄バス⇄鉄道の「利用モデルコース」を「乗継ダイヤ」があれば利用しやすいかと思う
- ・ キャッシュレス化も進んでおり、スマホ等による決済もできれば良いかと思う
- ・ 町外に住んでいる職員が公共交通で月に1回でも使えば利用が増えると思う

■他のサービスとの連携について

- ・ 本郷地域では、電動で動くEバイク（6台）と3人乗り三輪自動車EVトゥクトゥク（2台）を貸し出すサービスが推進されており観光向けに継続できることが望ましい
- ・ 高田地域では「あやめ荘」から「本郷温泉湯陶里」または「新鶴温泉んだ」まで直行する、町内温泉の利用を限定とした無料送迎サービスがあるようだが、本郷地域では利用することができないのでせっきく走るのであれば乗せてほしい（本サービスは高田温泉あやめの湯廃止に伴う利用者の代替措置として運行）
- ・ 会津中央病院が運行している「病院送迎バス」があるようだが役場だけでなく本郷まで来れるようにならないか
- ・ 公共交通以外にも様々な移動サービスがあるので、各施設・部署だけで考えるのではなく、総合的に検討しないと各地域から疑問の声も出ると思うし、連携することで使い勝手も良くなるので検討いただきたい



■その他

- ・ 近年、セニアカー（シニアカー）の利用も増えている、長距離の移動は難しいかと思うので、公共交通でカバーできるようになると良いかと思う



●高田地域からの意見要望

■美里あいあいタクシーについて

- ・ 「便利になった」や「荷物が多くなると積んでくれるのでありがたい」という声は聞いている
- ・ ただし、乗り降りについて「介助がないと利用できない」という声が多くあり、代替として路線バスを利用しているものの、こちらでも乗り降りに時間がかかってしまうため「介護タクシーを使うしかない」と考えている方もいるが、運賃の面では「美里あいあいタクシーを使いたい」という声を聞いている
- ・ また、路線バスや一般のタクシーと比べると「1乗車 400円」や「1日乗車券」があるので安いとは思いますが、運行開始当初よりは値上げが行われているので、助成があるとありがたい
- ・ 予約時に「30分かけてもオペレーターが電話に出ない」ことがあり、電話を受けてもらえないと「待ち時間の想定もできない」ため困ることがある
- ・ 会津若松市内にある「竹田総合病院」などに行っている方が多いので直通で行けるとありがたい
- ・ ライドシェアについても、美里あいあいタクシーの時間外で使えるように検討してはどうか

■バス・鉄道について

- ・ 美里あいあいタクシーは便利だし、人口が少なくなると難しいのかもしれないが、バスが無くなるようなことは避けたい
- ・ 早い段階でバスが無くなった地域は不自由な中で集団登校をしている
- ・ 近年は「クマ」や「不審者」も出るようになったので登校時間にバスがあれば助かる
- ・ 「じげんプラザ」から「若松駅」まで利用したことがあったが、便利だった
- ・ 「竹田総合病院」は構内まで入っており、車椅子もスロープも使えるようだ
- ・ 本郷地域の取組のように「移動手段と目的をセットで考える」ことを行い「地域で集まってドン・キホーテなどに行く」などを実践して、まずは利用に対する自信をつけていきたい
- ・ 路線維持に係る補助金が会津若松市に次いで多い地域なので「高校生サミットに町民の皆さんにも参加していただいて、意見交換を行う」など路線維持を頑張っていかなければならない
- ・ また、只見線沿線でいろいろな集まりがあり、路線維持に向けて考えているようだ
- ・ 観光客向けの考え方に加え通学のことも合わせて考えなければならぬ
- ・ 奥会津だけの只見線ではないので、もっと積極的に参加していかなければならない
- ・ 駅のバス停が「歩いて5分程かかる場所」に設置されているが特に案内がなく、地元民にも観光客にも不便なので丁寧な案内が必要だと思う

■利用促進・周知広報について

- ・ まだ「運賃」や「使い方」などを知らない人も多いので「免許返納の前にしっかり周知する」ことや「企業などの通勤に活用してもらう」など、使う文化に変えていかなければならない
- ・ 使いづらい部分があるため、使っていない人のことを考え、「役場に向かうことも難しい現状」をもっと理解し、使いやすさをアピールしていくことが必要かと思う
- ・ 使いづらいという声が多いようだが「アプリの使い方動画 (YouTube)」などは公開されているのでそれを活用したり「出前講座」などで「予約時のオペレーターとのやり取りのシミュレーション」をしたりすることで実際に体感してもらえるのではないかと

■他のサービスとの連携について

- ・ 介護関係の外出支援サービスに車椅子のまま乗れる軽自動車があるので周知を行う
- ・ 本郷地域で実施されている「トゥクトゥク」は借りた場所でしか返せないが、駅や観光地で乗り捨てられるような取組も考えられるのではないかと
- ・ 併せて、レンタサイクルも駅には整備されていないので、4 駅で対応することで二次交通を充実させていくことも必要かと思う

■その他

- ・ みなさん会津若松駅から乗っているが、高田駅は駐車料金がからないし、東京までスムーズに行くことができるので、自分が旅行に行くときは利用している
- ・ 便利な世の中にしすぎていると感じており「限られた財源」や「人口減少」の中ですべての人を満足させるのは難しいため、自身が考え方を変えていかなければならないと思った
- ・ 今まで公共交通の使い方を考えてこなかったが、間もなくお世話になるので、このような場でしっかりと考えていかなければならないと思った
- ・ 施策について「検討する」という記載が多いが、実施しなければ課題解決には繋がらないと思うので、できないことはできないと言いつつも「誰が何をやるか」も踏まえて施策を検討しなければならぬと思う
- ・ 今回のように公共交通の説明会をやっても集まりが悪い
- ・ 本当に意見を聞きたい「足が不自由な人」などに向け、今回の意見交換会では送迎や相談できる環境が整っていた。集まりが悪いのは行政の責任だけではなく、公共交通を使いたい方は集まるのが大切だったのかと思う
- ・ せっかくこのような場があるので、出席することが地域の責任かと思う
- ・ ホームページを見れない人もいますのでそういった人への対応も必要（区長等を通した呼びかけ、広報紙にて周知済み）

●新鶴地域からの意見要望

■美里あいあいタクシーについて

- ・ 民生児童委員として地域の見守りをしているが、新鶴地域北部の住民は坂下町にある施設を昔から利用しているため、美里あいあいタクシーの運行範囲を広げて買物などに使えるようにするかバスを通してほしい
- ・ 美里あいあいタクシーを使えば、総額 1,000 円で自宅から坂下厚生総合病院便が経由する役場まで行き、乗り換えることで通院して帰ってくることができるが、そのことを知らない住民もいる
- ・ 中には坂下厚生総合病院に通えないため、高田厚生病院に転院した人もいと聞いている
- ・ ただし、坂下厚生総合病院に行くことはできるものの、早い時間からやっている整形外科などの朝の予約に間に合わないため 9 時からの診察を受けることができないことから、もう少し本数があると良いかと思う
- ・ 坂下厚生総合病院が院内処方せず、隣地の薬王堂での受取になるようなので更に大変になりそう

■バス・鉄道について

- ・ バス会社等に出しているお金でタクシー券を配ってはどうか
- ・ 鉄道の便数が少ない
- ・ 観光客を呼ぶことと JR の活用に向けて新鶴支所を回るバスを走らせてくれないか

- ・ 会津バスは若松から新鶴温泉への便は 1 日 3 便程度しかない

■利用促進・周知広報について

- ・ 料金の支払方法がわからない
- ・ 町内でお祭りがあっても、移動手段がないと行くことができないため、他の自治体で運行しているような送迎ができないか

■他のサービスとの連携について

- ・ 坂下に会津バスの回送バスが向かっているようだが、誰も乗ってないのはもったいないので、乗れるようにしてほしい
- ・ スクールバスの一般混乗などはできないか

以上